

【壁灯の作り方】



↑ (Aタイプの作例)

【使用する型紙#】

■Aタイプ (左写真)
 プラ板 (型紙⑤-1)
 極薄ベニヤ (⑤-2、3)

■Bタイプ (右写真)
 プラ板 (型紙⑤-4)
 極薄ベニヤ (⑤-5、6、7)



↑ (Bタイプの作例)

《使用する材料》

(☆はパーツキットに入っているもの、★は自分で用意するもの)

☆12V用麦球	☆ヒノキ棒 (1ミリ角)
☆ウッドビーズ(大)	☆発泡スチロール
☆極薄ベニヤ	
☆プラ板	★ボンド
☆和紙	★塗料

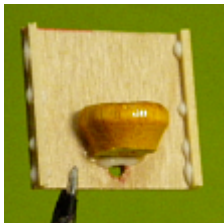
■Aタイプの作り方(1)～(10)

(1) Aタイプの材料加工



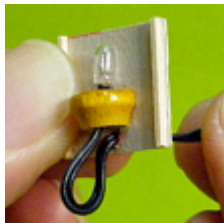
材料をカットします。プラ板、極薄ベニヤは基本技法■1と■2、ウッドビーズ(電球台)は■4を参照して下さい。

(2)



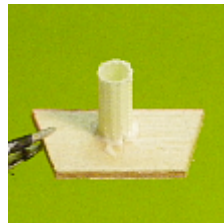
ビーズの電球台を背板の中央下部に、ヒノキ棒(1ミリ角)を左右両端に接着します。

(3)



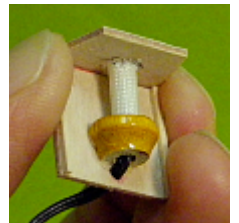
(2)の乾燥後、麦球のコードを電球台の上から通し全部下に出したあと、背板の孔から後方に抜きます。

(4)



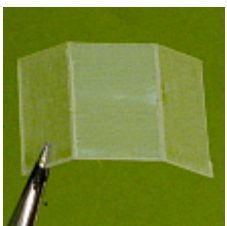
耐熱チューブを1センチカットし、天板の中央やや奥側に接着します。

(5)



天板を背板に載せるように接着します。耐熱チューブが麦球にスポリはまるように位置を調整します。

(6) プラ板加工



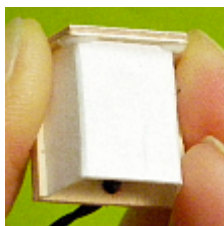
プラ板を型紙通りにカットし、軽く折り曲げておきます。(基本技法■1)

(7)



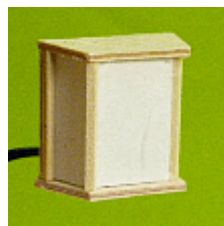
プラ板の凸面にボンドを塗って和紙を貼り、はみ出した紙は乾燥後カットします。

(8)



(7)を背板前面と天板に軽く接着します。左右のヒノキ棒にぴったりつけて下さい。

(9) 完成



底板も軽く接着します。最後にヒノキ棒(1ミリ角)で火袋の中柱を付ければ完成です。

(10)



12Vの電源につないで点灯させます。

■Bタイプの作り方(11)～(20)

(11) Bタイプの材料加工



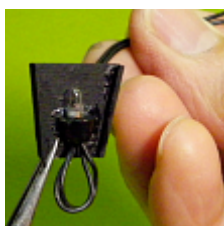
材料をカットします。プラ板、極薄ベニヤは基本技法■1と■2、ウッドビーズ(電球台)は■4を参照して下さい。

(12)



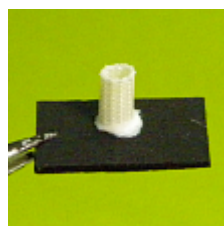
ビーズの電球台(これは(2)の残り半分)を背板の中央下部に、ヒノキ棒(1ミリ角)を左右両端に接着します。

(13)



(12)の乾燥後黒く塗り、麦球のコードを電球台の上から全部下に出したあと、背板の孔から後方に抜きます。

(14)



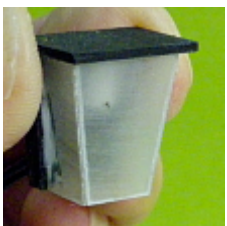
耐熱チューブを1センチカットし、天板(下面側)の中央やや奥側に接着します。

(15)



(14)が乾かないうちに天板を背板に載せてみて、耐熱チューブが麦球にはまるようチューブの位置を調整します。

(16)



プラ板を折り曲げ、背板と天板に軽く接着します。左右のヒノキ棒に密着させます。

(17) 完成



底板と火袋の隅柱(1ミリ角ヒノキ棒)を黒く塗って取り付ければ完成です。

(18) 応用作例



(14)の天板に屋根を付けたら外灯になります。(屋根は「外灯の作り方」を参照)

(19)



屋根をつけるときは天板を少し大きめにし、底面には半割りにしたビーズを接着します。

(20)



点灯したところ。洋風の外灯らしい雰囲気になりました。